

お役に立つ情報をお届けします。

忙しいビジネスのお手を少し休めて、お読みいただければ幸いです。

Attractive 通信

第6号

平成29年8月1日発行（季刊）

編集・発行

ビジョンサポート合同会社

Attractive 通信

あなたとの高会いが an attractive opportunity となるように願い attractive 通信と名付けました。

インダストリー 4. 0

近未来、無くなってゆく仕事の上位に保険販売があるそうです。テクノロジーの進化によってロボットやAIが代替可能な仕事、例えば運転手や郵便配達人などモノや人を運ぶ仕事、機械的な事務仕事は、人間の仕事ではなくなる可能性が高いそうです。税理士なども上位に位置していました。これまでも身近なところではキーパンチャーは職場からいなくなり、街角の旅行代理店は大手の出先以外はすっかり見なくなりました。今後は競技の審判も必要なくなるとのこと、試合中の乱闘は誰が納めるのが課題だそうです。セコム？アルソックですかね？

皆様のお仕事はいかがでしょう？・・・「馬鹿にするな！」という声が聞こえてきそうです。逆に無くならない仕事の上位に営業職があるそうです。「へ〜」??

18～19世紀に英国で起きた、蒸気機関の発明による第1産業革命。19～20世紀、石油と電力を活用し、大量生産を可能とした第2次産業革命。そして、20世紀後半からのコンピュータ制御を活用した第3次産業革命。ここまでは、歴史を振り返って名づけられたもの。

第4次産業革命は、ドイツ政府が次の時代を見据えて発表した技術戦略「インダストリー 4.0」によって、世界に強烈な印象を与えましたが、現在は、第3次から第4次への革命の過渡期にあるそうです。

経済産業省の指針からも第4次産業革命の定義として、そのコア技術はIoT、Internet of Things（モノのインターネット）、AI、ロボット、ビッグデータの応用で、それらを最適化することでの効率化だそうです。

私たちはその変化に応じる力が試されています。恐竜が絶滅したように、強いモノが生き残るのではなく、変化に対応できるモノが生き残るということが益々、試される時代になっているのではないのでしょうか。

10～20年後に国際競争力を持った企業や人であり続けられるかの分かれ目です。産業構造や社会的需要の変化は、新しいビジネスモデルで中小企業が勝負をするチャンスとも言えると思います。

保険のオーダーメイドは当たり前前の時代となるでしょう、さらに新感覚のサービスの誕生に期待が高まります。進化と共に私達にしか出来ない価値を生み出す革命が、求むべきインダストリーなのかもしれません。